

国立劇場再整備等事業（令和5年2月3日公告）入札説明書・同添付資料等の訂正表(第1回)

No.	資料名	頁数	行数	項目	訂正前	訂正後
1	11_(資料-2)業務要求水準書 第4章 施設整備	4-57	9	第6節. 劇場 大劇場、小劇場、 演芸場の施設計画 建築・設備 ② 各劇場音響性能 の目標及び調整・ 測定	(a) 伝送周波数特性 伝送周波数範囲 目標値：ばらつき10dB以内（160～5kHz） スピーカー仕様による。（40～12.5kHz以上） 測定位置：客席内12点以上（大劇場） 客席内9点以上（小劇場） 客席内6点以上（演芸場）	(a) 伝送周波数特性 伝送周波数範囲 目標値：ばらつき10dB以内（160～5kHz） スピーカー仕様による。（40～12.5kHz以上） 測定位置：客席内30点以上（大劇場） 客席内9点以上（小劇場） 客席内6点以上（演芸場）
2	65_(添付4-10-9)大 劇場 舞台音響設 備仕様表	1	20	※目標音響性能値	◎目標性能 音響システムは下記に示す調整項目について目標性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー ※目標音響性能値 ・最大再生音圧レベル 95dB 以上（客席内代表点）※大音量用 スピーカー使用時 ・音圧レベル分布 4kHz オクターブバンドにて9dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席4 席あたり1 ポイントを目安 とする） ・伝送周波数特性 160Hz～5kHz にてバラツキ10dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席50 席につき1 ポイントを目安 とする） ・残留雑音 NC-20 以下（客席内代表点） ・安全拡声利得 -10dB 以上（舞台中央及び下手）	◎目標性能 音響システムは要求水準に示す性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー
3	75_(添付4-11-9)小 劇場 舞台音響設 備仕様表	1	20	※目標音響性能値	◎目標性能 音響システムは下記に示す調整項目について目標性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー ※目標音響性能値 ・最大再生音圧レベル 95dB 以上（客席内代表点）※大音量用 スピーカー使用時 ・音圧レベル分布 4kHz オクターブバンドにて9dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席4 席あたり1 ポイントを目安 とする） ・伝送周波数特性 160Hz～5kHz にてバラツキ10dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席50 席につき1 ポイントを目安 とする） ・残留雑音 NC-20 以下（客席内代表点） ・安全拡声利得 -10dB 以上（舞台中央及び下手）	◎目標性能 音響システムは要求水準に示す性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー
4	84_(添付4-12-8)演 芸場 舞台音響設 備仕様表	1	20	※目標音響性能値	◎目標性能 音響システムは下記に示す調整項目について目標性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー ※目標音響性能値 ・最大再生音圧レベル 95dB 以上（客席内代表点）※大音量用 スピーカー使用時 ・音圧レベル分布 4kHz オクターブバンドにて9dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席4 席あたり1 ポイントを目安 とする） ・伝送周波数特性 160Hz～5kHz にてバラツキ10dB 以内 （下手又は上手側の半分の客席50 席につき1 ポイントを目安 とする） ・残留雑音 NC-20 以下（客席内代表点） ・安全拡声利得 -10dB 以上（舞台中央及び下手）	◎目標性能 音響システムは要求水準に示す性能値が得られるよう計画する。 音圧レベル分布についてはスピーカーシミュレーションにより、適切な配置となっている事を確認する。 ※動作スピーカー ・プロセニアムスピーカー ・サイドスピーカー ・フロントスピーカー ・補助スピーカー